

NFEC教育/人材育成プログラム受講に関する最新情報は、
QRコードからWEBサイトにアクセスして確認してください。
<http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp>



所属

学籍番号

氏名



十八親和銀行



ふくおかフィナンシャルグループ



国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構
FFGアントレプレナーシップセンター

How to Access



●JRをご利用の場合

JR長崎本線「浦上駅」下車、その後、以下の路面電車もしくはバス利用

●浦上駅から路面電車をご利用の場合

- 「浦上駅前」から「赤迫(あかさこ)」行き乗車
- 「長崎大学」で下車(所要時間/約10分)

●浦上駅からバスをご利用の場合

- 「浦上駅前」から「滑石(なめし)・時津(ときつ)」等方面行き乗車、「長崎大学」で下車(所要時間/約10分)

●高速バスをご利用の場合

浦上経由長崎方面行きバス「昭和町(しょうわまち)」で下車し、徒歩で長崎大学東門まで約15分
あるいは長崎大学正門まで約20分

●航空機をご利用の場合

長崎空港(大村市)から浦上経由長崎方面行き長崎県バス「長崎空港リムジン」で
「長大東門前(ちょうだいひがしもんまえ)」で下車
(所要時間/約50分)し、徒歩で約3分



NFEC 国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構
FFGアントレプレナーシップセンター

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14 長崎大学文教キャンパス工学部2号館2F
オープンラボ3(研究室)・1F オープンラボ1(ラウンジNOVE) TEL 095-800-4121 (内線4121)

お問合せ先

ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp

お問合せ・ご相談につきましては、右記のQRコードからメールにてご連絡ください。



株式会社 十八親和銀行 寄附講座



時代のうねりから 次代の創造へ。

*From the Social Upheaval of the Times,
To the Creation of the Next Generation*

長崎大学からあなたの創造性を発揮しよう!
失敗を恐れず、自ら考え行動できるアントレプレナーを目指そう!

From Nagasaki University, Realize Your Creativity and Aim to be an Entrepreneur!

長崎大学研究開発機構FFGアントレプレナーシップセンター(NFEC)は、2019年10月、長崎大学とふくおかフィナンシャルグループとの連携協定に基づき、アントレプレナーシップ教育の実施と大学発ベンチャー創出支援を目的とする寄附講座として、開設されました。2023年4月からは、株式会社十八親和銀行の寄附講座として新たなスタートを切りました。

NFECは、第一に長崎大学の全学部生、全大学院生を対象として、体系的なアントレプレナーシップ教育・人材育成プログラムを実施することにより、先進的なイノベーション教育・研究の機会を提供し、自立心・向上心に溢れ、課題解決による新しい価値創造への意欲を持ったアントレプレナーの育成を目指します。

第二に、大学における研究開発成果である技術や知的財産の事業化・実用化を促進し、大学発ベンチャーの創出を支援することによって、新産業創造及び地域経済の発展に貢献することを目指します。

第三に、アントレプレナーシップ教育やベンチャー創出に関心持つ地域企業、地方公共団体、他大学・高専・高校等との交流・連携を通じて、地域全体のスタートアップエコシステム、イノベーションエコシステムの構築を目指します。

未来を見通すことが難しい時代を迎えた今こそ、あなた自身の創造性を発揮し、豊かな資源と歴史・文化の宝庫である長崎の地から、長崎大学に集積する様々な分野の知を活かしてイノベーション創出に挑戦する、アントレプレナーを目指してみませんか?

アントレプレナーシップや大学発ベンチャーにご関心のある皆さん、NFEC教育・人材育成プログラムの受講をお考えの皆さんは、まずは、お気軽にNFECへ足を運んでいただけたら幸いです。お会いできるのを楽しみにしています。

FFGアントレプレナーシップセンター
教員・スタッフ一同

長崎大学から新しい価値創造に チャレンジしよう!

学長メッセージ

Message from the President



President of Nagasaki University

Shigeru Kohno

2020年1月、長崎大学の将来ビジョン、戦略目標として「プラネタリーヘルスへの貢献」を宣言しました。地球やそこに生きる生物の存続を危うくする地球規模の課題は、独立して存在するのではなく、相互に複雑に絡まり合っています。紛争の背景に潜む経済格差や、途上国の経済発展と温暖化対策の両立の困難さなどはその代表でしょう。このように解決すべき課題が複雑化し、事業環境の不透明感が増している昨今において、私たちは多面的な知の連鎖を誘発し、オープンイノベーションを推進することで、不確実な時代を乗り切っていく必要があると考えています。

そのような中、長崎大学全ての学部生・大学院生を対象として、先進的なイノベーション教育・研究の機会を提供することにより、自立心、向上心を有し、新しい価値創造にチャレンジし、自ら課題解決に取り組むことができる次世代のアントレプレナー人材を育成することを目的に、ふくおかフィナンシャルグループの寄附講座として、本学研究開発推進機構内に「FFGアントレプレナーシップセンター(NFEC)」が開設され、2020年4月から本格的に活動を開始しました。さらに、株式会社十八親和銀行様の寄付を頂き2023年4月に新たなスタートを切りました。全教員一丸となり「アントレプレナーシップ教育」と「大学発ベンチャー創出の支援」に懸命に取り組みを推進しています。

NFECの第一の使命は、新しい価値創造に挑戦し、課題解決に取り組む意欲を持ったアントレプレナーシップ人材を育成することであり、既に、長崎大学で多くの学生や社会人履修生の皆さんがNFEC教育/人材育成プログラムに積極的に参加されています。NFECの第二の使命は、大学における研究開発の成果である技術シーズ(知的財産)のインキュベーション活動を通じて大学発ベンチャーの創出を支援し、ひいては新産業の創出及び地域経済の発展に貢献することであり、既に、長崎大学における技術シーズ(知的財産)の市場性評価や事業化検証が行われ、その成果の芽が出始めています。

このように、若い世代の斬新な発想を活かした従来の枠に捕われないアントレプレナー人材を育成し、大学発ベンチャー創出の支援を行っていくことは、AI(人工知能)やIoT、ビッグデータを活用したデータサイエンスの隆盛など、デジタル化への対応が我が国全体の課題であることから、本学におけるNFECの活動はきわめて大きな意義があるといえます。今後、NFECをきっかけに、多くの学生が先進的なイノベーション教育・研究の機会を得ながら起業家精神を培い、地域の様々な課題に対する解決策を探り、長崎を起点とした新しい価値創造にチャレンジできるアントレプレナー人材が育っていくことを大いに期待しています。

積極的に新しいことにチャレンジしたい諸君。是非、NFECで先進的なイノベーション教育・研究を体験し、新しい価値創造にチャレンジしてみませんか。

長崎大学 学長 **河野 茂**

1. 皆さん、NFECをご存じですか？

NFEC(Nagasaki University, FFG Entrepreneurship Center)は、長崎大学研究開発推進機構に開設されたセンターです

FFGアントレプレナーシップセンター(NFEC)は、2019年10月に株式会社ふくおかフィナンシャルグループ(FFG)、2023年4月からは、株式会社十八親和銀行の寄附講座として、長崎大学研究開発推進機構内に開設されました。NFECでは、次世代のアントレプレナー人材の育成を目指して、学部生・院生向け教育プログラム、社会人向け履修証明プログラム、研究者向けインキュベーションプログラムを提供していきます。

NFECは、「アントレプレナーシップ」を習得する機会を提供します

「機会を見つけて自ら考え行動し、失敗を恐れずチャレンジできる自分になりたい!」
 「社会課題の解決に取り組んで、世の中に新しい価値を創り出したい!」
 「起業に必要なスキルや知識を身につけて、将来ベンチャーに関わってみたい!」
 「研究成果のテクノロジーを事業化して、社会に役立つビジネスを立ち上げたい!」
 そんな夢や目標を持つあなたにとって、NFECでの学びや仲間との出会いが、自らの大きな飛躍のきっかけになるはずです。



学部生・院生は、NFECが実施する授業をだれでも受講できます

学部や研究科の枠を超えて、多様なバックグラウンドを持った仲間と共に学び、切磋琢磨する場を持つことは、あなたの視点、視野、視座を広げるチャンスになるでしょう。科目によっては、社会人の方と一緒に学び議論する機会も得られます。(履修登録または受講申込が必須となります。)



NFECの授業は、自ら積極的に学び、仲間と互いに学び合う場となります

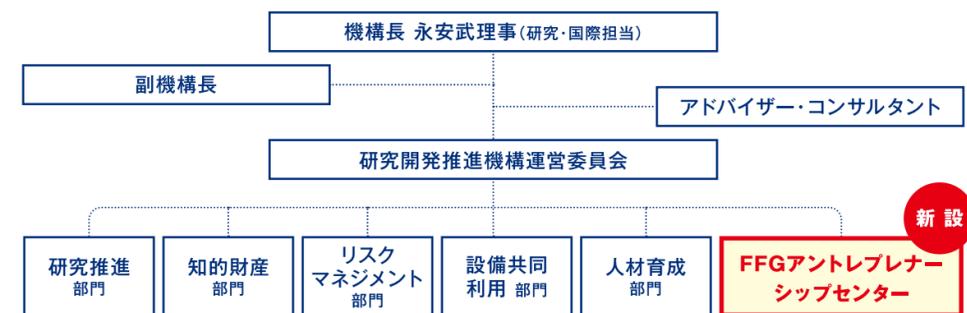
NFECが提供する教育プログラムでは、座学だけでなく、受講生同士によるグループディスカッション、チームで自ら考えたビジネスアイデアの実践、第一線で活躍されているゲスト講師によるご講演、ワークショップ、課題解決型学習(Project Based Learning)、ビデオ授業など、様々な講義手法を採用します。「受け身で答えを教わる」のではなく「自ら学び、仲間と互いに教え学び合う」体験ができます。



Overview

FFGアントレプレナーシップセンターの概要

- **名称**
国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構
FFGアントレプレナーシップセンター
- **開設時期**
2019年10月(2020年4月から教育プログラム開講)
- **履修対象者**
長崎大学全学部の学部生・全学科の大学院生/
他大学学部生・高専生/他大学大学院生・社会人
(履修証明プログラム)
- **講座形式**
株式会社十八親和銀行寄附講座
- **組織図**
FFGアントレプレナーシップセンターは長崎大学研究開発推進機構の一部門として新設されました。



Mission

FFGアントレプレナーシップセンターの使命

- ① 長崎大学の全ての学部生・大学院生を中心に、先進的なイノベーション教育・研究の機会を提供することにより、自立心、向上心を有し、新しい価値創造に挑戦し、課題解決に取り組む意欲を持ったアントレプレナー人材の育成を目指します。
- ② 大学における研究開発の成果である技術や知的財産のインキュベーションに取り組むことにより、大学発ベンチャーの創出を支援し、ひいては新産業の創出および地域経済の発展に貢献することを目指します。

Activities and Characteristics

FFGアントレプレナーシップセンターの活動内容・特色

- ① 長崎大学全ての学部生・大学院生を対象として、体系的なアントレプレナーシップ教育プログラムを実施することにより、先進的なイノベーション教育の機会を提供。
- ② 大学における研究開発の成果である技術・知財の事業化・実用化を促進し、ベンチャー創出を支援するためのインキュベーションプログラムやセミナーを実施。
- ③ アントレプレナーシップ・イノベーションに関する研究およびそれらの教育手法に関する研究の実施。
- ④ アントレプレナーシップやベンチャー創出に関心を持つ長崎県内の他大学学部生、大学院生、高専生、社会人に対して、教育プログラムやインキュベーションプログラムへの参加機会を提供。
- ⑤ アントレプレナーシップやベンチャー創出に関心を持つ地域企業、地方公共団体、他大学等に対する情報発信ならびに交流・連携の機会を提供。

2. NFECの活動内容

ビジョン～「起業活動支援」と「意識醸成」の2つのスコープ～

ベンチャー企業創出

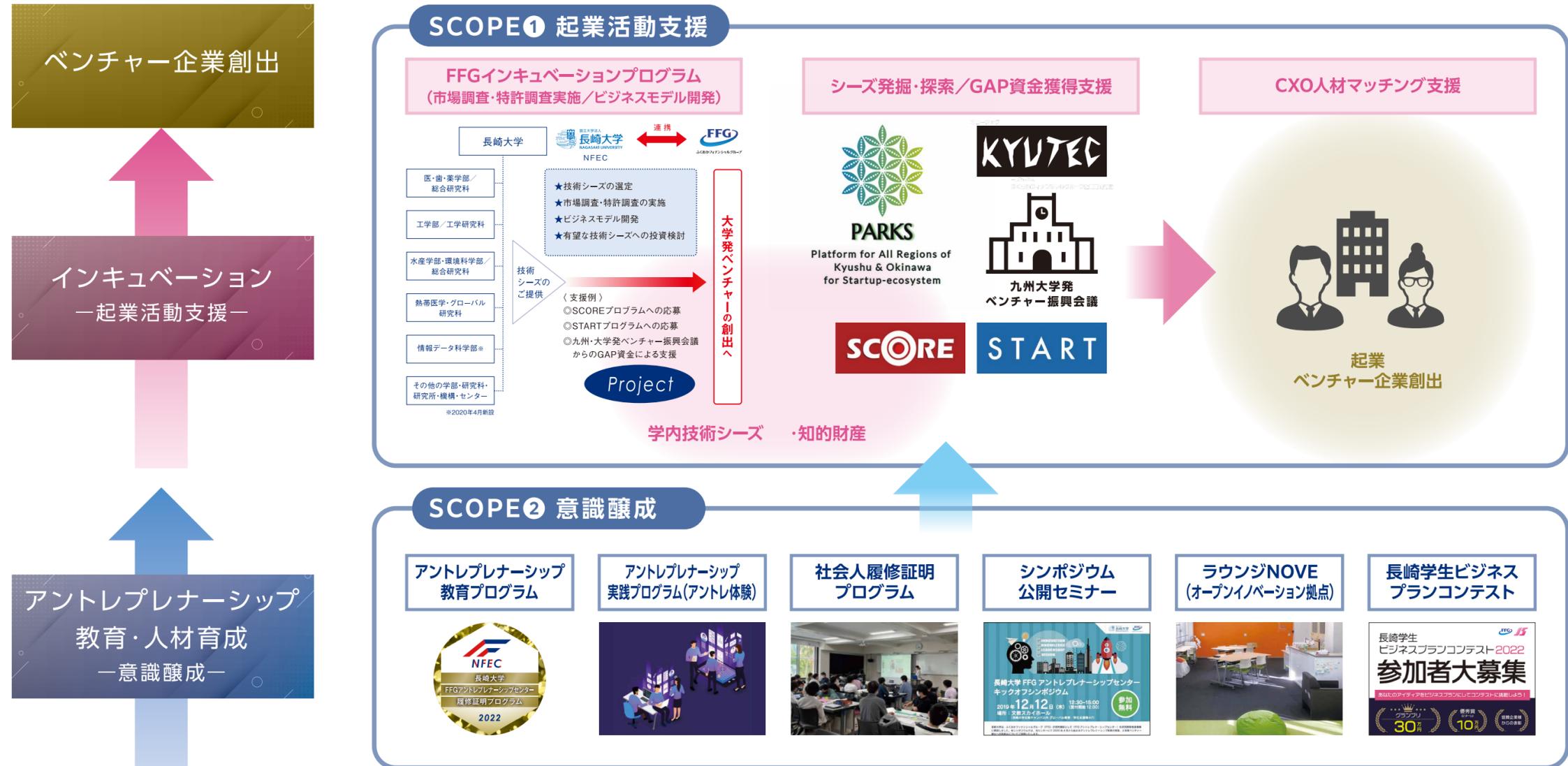
大学発ベンチャーを創出するためには、インキュベーションから起業に至るまでのプロセスで必要となる「ギャップ資金の獲得」、「CXO人材（経営、財務、市場等の各分野の専門人材）の獲得」、「ビジネス機会の創出」に向けた様々なサポートが求められます。そのためには、①研究者への粘り強い継続的な支援、②学内研究室／教職員との日常的なコミュニケーションの強化、③研究開発推進機構他部門との連携、④大学発ベンチャー創出を成し遂げることにコミットメントや熱意が不可欠となります。また、長崎経済を支える地域企業や地域自治体との連携も欠かせません。NFECが目指す将来ビジョンの実現は道半ばであり、今後もさらなる積極的な活動を進めてまいります。

インキュベーション

大学における研究開発成果である技術シーズや知的財産のインキュベーション支援は、市場調査・特許調査、ビジネスモデル開発を行い、事業化可能性を高めるなど、大学発ベンチャーを創出するために重要なプロセスとなります。学内の技術シーズの発掘・探索を進め、大学発ベンチャー創出のポテンシャルを最大化するべく、さらなる継続的な取り組みが必要です。

アントレプレナーシップ教育・人材育成

学生や社会人に対するアントレプレナーシップ教育・人材育成は、自立心、向上心を持って、多面的な視野・視座・視点により社会課題の解決に取り組む人材、地域に根差した新しい価値創造を行って、地域経済の発展に貢献する人材を輩出し、ひいてはベンチャー創出に向けた機運の醸成やボトムアップに繋がるものと考えています。大学教育の中にアントレプレナーシップ教育を体系的に位置づけて、意識を醸成し、コンピテンシー形成の機会を提供していくことが求められます。



3. NFECで何が学べるのか？

➔ 「アントレプレナーシップ」を身に付け、アントレプレナーに必須となる知識、スキル、マインドセットを習得できます

変化が激しく未来を見通すことが難しい毎日において、皆さん自身が機会を見つけて、様々な問題に対して新しい選択肢、解決方法、ビジネスなどを創り出すことによって、自分自身の価値を高めて夢や目標を実現したり、広く世の中に価値を提供することにチャレンジできます。そのチャレンジに必要な知識、スキル及びマインドセットを習得できるのがNFECです。

➔ 「アントレプレナーシップ」の意味とは？

今回、「アントレプレナーシップ」という言葉を始めて知った人もいるかもしれません。「企業家精神」「起業家精神」と翻訳されることが多く、「企業を興す人、起業する人が持つマインドセット（思考様式、価値観、信念）」という狭い解釈をされる場合もあります。しかし、NFECでは、欧米の学者による定義なども参考にしつつ「アントレプレナーシップ」を「様々な問題、予期せぬ変化、不確実な状況などに直面しても、それをチャンス（機会）と捉えて、失敗を恐れず新価値創造に向けて行動できるマインドセット」と解釈し、起業を目指す学生のみならず、失敗を恐れずにチャレンジする力をつけたい学生、自立心を持ってキャリアを開拓したい学生も広く支援していきます。

➔ NFECが目指すアントレプレナー人材像とは？

- ◎自立心、向上心を有し、新しい価値創造に挑戦し、課題解決に取り組む意欲を持った人材
- ◎自らコントロールできない不確実な状況に面しても、変化を機会と捉えて活用できる人材
- ◎多面的な視野、視座、視点を持って課題を発見し、解決するアイデアを創造し可視化できる人材
- ◎研究開発の成果である技術を活かして、独創的な新事業コンセプトを創造できる人材
- ◎地域の課題に対する解決策を探り、長崎を起点とした新しい価値創造を行って地域経済の発展に貢献できる人材



4. NFEC教育・人材育成プログラムの特徴は？

➔ 特徴①：全学部の学部生、全研究科の大学院生が対象です

「NFEC教育・人材育成プログラム」は、長崎大学の全学部に属する学部生、全研究科に属する大学院生を対象とした教育プログラムであり、多面的な視野、視座、視点を持って社会課題を発見し、それらの課題を解決する新事業アイデアを創出し、地域に根差した新しい価値創造に貢献できるよう、受講生がアントレプレナーシップを身に付け、アントレプレナーに必須となるスキルや知識を習得することを目指すためのプログラムです。

➔ 特徴②：入門3科目、基礎4科目、応用3科目、実践2科目の4ステップの教育プログラムから構成され、合計12科目の授業が体系的に実施されます

「NFEC教育・人材育成プログラム」は、入門3科目、基礎4科目・応用3科目・実践2科目の4ステップ全12科目から構成される体系的な教育プログラムです。

◎入門プログラム(3科目)

学部生を対象とした教養教育科目である「課題発見システム思考入門」「アイデア創出・デザイン思考入門」「事業創造・スタートアップ入門」の3科目から構成されます。

◎基礎プログラム(4科目)

大学院博士前期課程・社会人を対象とした科目である「アイデア創出・デザイン思考演習」「ビジネスプランニング演習」「アントレプレナー・ファイナンス論」「技術マーケティング・顧客開発論」の4科目から構成されます。

◎応用プログラム(3科目)

大学院博士後期課程・社会人を対象とした科目である「先端技術事業化論」「グローバルアントレプレナーシップ論」「イノベーション論(イノベーション・技術戦略・地財戦略・出島戦略)」の3科目から構成されています。

◎実践プログラム(2科目)

社会人を対象とした履修証明プログラム科目である「セルフマネジメント実践」「組織マネジメント実践」の2科目から構成されます。

➔ 特徴③：授業を受講し、一定の要件を満たした場合、NFECから科目毎に、受講完了証として「オープンバッジ」が発行されます

「オープンバッジ」とは、世界的な技術標準規格に準拠した、資格・スキル・能力等を示すデジタル証明書です。ブロックチェーン技術を取り入れているので、偽造、改ざんが困難な信頼のおける学習証明書の役割を果たします。NFEC教育・人材育成プログラムの授業を履修し、一定の要件を満たした場合、科目毎にNFECから「オープンバッジ」が授与されます。受講生は自分自身の「マイウォレット」をWEB上に持つことができ、マイウォレット内に受講した科目の「受講完了証」であるオープンバッジが表示されます。取得したオープンバッジを公開することもできますので、就職活動などで自分自身の学習履歴をアピールすることに活用できます。



5. 2023年度 NFEC教育・人材育成 プログラムロードマップ&スケジュール

※チャレンジイベントについてご関心・ご質問のある方は、NFECのWEBサイトまたはメールを通じて、直接お問い合わせください。

科目レベル	履修対象者	2023年度 前期		夏期集中	2023年度 後期	
		第1クォーター	第2クォーター		第3クォーター	第4クォーター
		4~6月	6~8月		9~12月	12~2月
チャレンジイベント	長崎学生 ビジネスプラン コンテスト2023 (学外)	「長崎学生ビジネスプランコンテスト2023」とは、起業を目指す、または既に起業している長崎県内の大学生、高専生、大学院生、留学生などを対象としたビジネスプランコンテストです。大学や高専などの技術シーズを活用したビジネス、社会課題を解決するビジネス		スアアイデア、食や農業、観光、海洋、水産などの地域の特色を活かしたビジネスアイデアなどについて応募し、教育プログラムに参加してアイデアをブラッシュアップした後、コンテストに挑戦することができます。		
	九州・大学発 ビジネスプラン コンテスト (学外)	「九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」とは、起業を目指す、または既に起業している九州内の大学生、院生、研究者、留学生、高専生、短大生、専門学校生等を対象として、学内の技術シーズを活用した事業や社会課題アイデア、食や農業、観光、海洋、		水産などの九州の特色を活かした事業などを応募し、1次審査、2次プレゼン審査を経て、勝ち残ると最終プレゼン審査に挑戦することができます。ここで入賞すると、賞金が授与され、ビジネスコンテストの全国大会に挑戦する権利を得ることができます。		
実践 プログラム 科目	社会人対象	◆セルフマネジメント実践 6/13(火)~9/19(火) ※隔週 18:30~20:00 2~5時限		◆組織マネジメント実践 12/2(土)2~5時限 12/3(日)2~5時限		
応用 プログラム 科目	社会人・ 大学院博士後期 課程学生対象	▲先端技術事業化論 6/17(土)2~5時限 6/18(日)2~5時限		▲グローバルアントレプレナーシップ論 8/19(土)2~5時限 8/20(日)2~5時限		
基礎 プログラム 科目	社会人・ 大学院博士前期 課程学生対象	●ビジネスプランニング演習 (アントレプレナーシップ応用) 6/14~8/2(水) 6時限		●技術マーケティング・顧客開発論 9/2(土)2~5時限 9/3(日)2~5時限		
		●アイデア創出・デザイン思考演習 7/1(土)2~5時限 7/29(土)2~5時限		●アントレプレナー・ファイナンス論 (経営管理論) 8/12(土)2~5時限 8/13(日)2~5時限		
		★アントレ実践入門② アイデア創出・デザイン思考入門 6/14~8/2(水)5~6時限		★アントレ実践入門③ 事業創造スタートアップ入門 9/27~11/15(水)5~6時限		
入門 プログラム 科目	学部生対象	★アントレ実践入門① 課題発見・システム思考入門 4/12~6/7(水)5~6時限		◆社会人対象科目:社会人は履修証明プログラム申請により受講可能/大学院生:学部生は希望により聴講可能 ▲大学院博士後期課程学生及び社会人対象科目:大学院博士後期課程学生は履修登録により単位取得可能/ ●社会人は履修証明プログラム申請により受講可能/大学院博士前期課程学生及び学部生は希望により聴講可能 ●大学院博士前期課程学生及び社会人対象科目:大学院博士前期課程学生は履修登録により単位取得可能/ ●社会人は履修証明プログラム申請により受講可能/大学院博士後期課程学生および学部生は希望により聴講可能 ★学部生対象:学部生は履修登録により単位取得可能		
		第1クォーター(4~6月)	第2クォーター(6~8月)	夏期集中(8~9月)	第3クォーター(9~12月)	第4クォーター(12~2月)



6. 2023年度 NFEC教育・人材育成 プログラム科目一覧および概要

対象	科目	担当教員・講師	日程	開講時期	時間	場所	科目概要	
学部生対象	アントレ実践入門① ★課題発見・システム思考入門	原口 唯	4/12・4/19・4/26 5/10・5/17・5/24 5/31・6/7(水)	第1クォーター	水曜5・6時限 (16:10~19:20) ※最終回は5時限のみ (全15コマ)	文 教	本授業では、課題発見やシステム思考の基礎を学習します。変化が激しく不確実性が高い現代では、解決すべき課題を発見し、自立心・向上心を持って課題解決に取り組み新しい価値創造にチャレンジできる人材が必要とされています。課題発見を行うには、自分自身と対峙し、「自分らしさ」を探求し、自己理解を深めた上で自らと社会の関係性に目を向け社会に対してのアクションを考える必要があります。本授業では、商店街の方へのインタビュー調査やグループワーク、自己探求などを通して課題発見とシステム思考について学習します。	
	アントレ実践入門② ★アイデア創出・デザイン思考入門	原口 唯	6/14・6/21・6/28 7/5・7/12・7/19 7/26・8/2(水)	第2クォーター	水曜5・6時限 (16:10~19:20) ※最終回は5時限のみ (全15コマ)	文 教	本授業では、「ビジネスモデルの設計」、「ペルソナ」や「デザイン思考」などを学習します。これらは、多面的な視野・視座・視点を持ちながら課題を発見し、それらを解決するアイデアを考案してイノベーション創出につなげるために必要な入門スキルです。本授業では、「ペルソナ設定」として、顧客の定義やアンケート調査の方法について学びます。そして顧客視点・ユーザー視点で対話を重視した問題解決手段である「デザイン思考」の基礎について学習します。なお、本授業は商店街をケース及びフィールドとしており「アントレ実践入門①課題発見・システム思考入門」を受講済みであることを想定しています。	
	アントレ実践入門③ ★事業創造・スタートアップ入門	原口 唯	9/27・10/4・10/11 10/18・10/25 11/1・11/8 11/15(水)	第3クォーター	水曜5・6時限 (16:10~19:20) ※最終回は5時限のみ (全15コマ)	文 教	本授業では、イノベーション、即ち、社会に新しい価値を創造する担い手である「スタートアップ」と呼ばれる企業を立ち上げるために必要なスキルを実際のプロジェクト運営を通して学習します。文教キャンパス周辺の商店街などで実際に企画を実施し、「プロジェクトマネジメント」、「ラピッドプロトタイプング」、「企画書の作成」などのテーマについて学びます。なお、本授業は「アントレ実践入門①課題発見・システム思考入門」及び「アントレ実践入門②アイデア創出・デザイン思考入門」を受講済みであることを想定しています。	
(希望により学部生聴講可能)	大学院生博士前期課程学生対象	基礎プログラム科目 ●ビジネスプランニング演習	山口 泰久	6/14・6/21・6/28 7/5・7/12・7/19 7/26・8/9(水)	第2クォーター	6時限 (17:50~19:20) (全8コマ)	文 教	本授業では、起業や新規事業立ち上げの実践に必要なアントレプレナーシップ(起業家精神)及びビジネスプランニングの手法を学習します。具体的には、演習(ワークショップ)形式で、顧客課題の設定、課題解決方法を明確化し、特許・技術評価、市場調査を行い、顧客のニーズに対応した新価値を創造し提供するビジネスプランの作成を学びます。その際、様々な事業化手法やツール(ビジネスモデルキャンパス、デザイン思考等)を学び、それらを実際に使用してチーム形式でビジネスプラン作成演習に取り組みます。
		基礎プログラム科目 ●アイデア創出・デザイン思考演習	原口 唯 (ゲスト講師招聘)	7/1(土) 7/29(土)	第2クォーター 集中講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文 教	本授業では、「アイデアを創出する技術」及び「デザイン思考」について演習形式にて学習します。特に、顧客視点・ユーザー視点を重視した対話を重視する問題解決手法である「デザイン思考」に重点を置き、具体的なテーマを題材としてチームで演習に取り組み、実務的かつ実務で役立つ「デザイン思考」のアプローチやプロセスについて習得します。具体的には、チームにおいて発案したアイデアについて「セールシート」を作成し、策定したアイデアを寸劇(スキット)形式で発表していきます。本授業では、正解がない「前例のない取り組み」において、具体的な解決策となるアイデアやコンセプトをチームで創出可能になる「デザイン思考」のアプローチを実践的に学習するとともに、イノベーション活動の方法論やマインドセットを習得することを目標とします。
		基礎プログラム科目 ●アントレプレナーファイナンス論	山下 淳司/ 上條 由紀子	8/12(土) 8/13(日)	夏期集中 講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文 教	この授業は、起業や新規事業立ち上げに取り組む実践人材(アントレプレナー)が知っておくべき、基礎ファイナンス理論およびアントレプレナーにとってのベンチャーの資金繰りや調達方法、企業価値の評価方法について学習するとともに、リスク管理の観点からベンチャーにとって必要な契約・法律の基礎知識、ベンチャーにとって必要な知的財産に関する基礎知識について学習し、企業価値の最大化を実現するための知識方策について総合的に習得することを目標とします。
	大学院生博士後期課程学生対象	基礎プログラム科目 ●技術マーケティング・顧客開発論	土屋 有	9/2(土) 9/3(日)	夏期集中 講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文 教	本授業では、具体的な事例を用いながらアントレプレナーが顧客ニーズに応じた製品・サービスを開発し顧客に価値を提供するために、知っておくべきマーケティングの基礎知識及び手法について学習します。特に、技術のマーケティングについても理解を深めます。また、スタートアップやベンチャーが陥りやすい「顧客が欲しがらない、売れない製品・サービスを市場に出してしまう」失敗を回避するため、研究開発の初期段階から顧客を相手に仮説検証を繰り返し、実現可能なビジネスモデルを探索する「顧客開発モデル」について基礎的な手法を学習します。
		応用プログラム科目 ▲先端技術事業化論	原口 唯	6/17(土) 6/18(土)	第2クォーター 集中講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文 教	本授業では、先端技術分野における技術の活用及び社会実装、当該分野において注目されている新規事業について、最新動向を学習します。具体的には、それらの先端技術融合分野における国内外の事業化事例について当該分野の起業家の方、企業内で新規事業立案に挑戦している実務家の方、支援者の方によるオムニバス形式の講演を通じて学習を進めます。
		応用プログラム科目 ▲グローバルアントレプレナーシップ論	原口 唯	8/19(土) 8/20(日)	夏期集中 講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文 教	変化が激しく不確実性が高い現代において、解決すべき課題を探求し、自立心・向上心を持って課題解決に取り組み、新しい価値創造にチャレンジできるアントレプレナーが必要とされています。本授業では、博士課程後期終了後のキャリア構築につなげる視点を持ちながら、アントレプレナーに必要なマインドセット(アントレプレナーシップ:起業家精神)について学習するとともに、アントレプレナーシップとイノベーションとの関係、起業が社会に与えるインパクト、デザイン思考についても学習します。さらに、研究成果である技術などを活用して、起業により新事業創造を行う社会課題解決や社会価値創出につなげる手法やプロセスを習得します。加えて、アントレプレナーシップ(起業家精神)を持って、地域からグローバルな市場で勝ち抜くビジネスを興し、イノベーションを起こす事例について、実際の起業家の講演を通じて学習します(授業は原則として英語で実施します)。
		応用プログラム科目 ▲イノベーション論(イノベーション・技術戦略・知財戦略・出島戦略)	松橋 俊彦	9/29・10/6・10/13 10/20・10/27 11/10・11/17 11/24(金)	第3クォーター	6時限 (17:50~19:20) (全8コマ)	文 教	本授業では、起業や新規事業立ち上げに取り組む人材(アントレプレナー)が知っておくべき、イノベーションや技術経営を行うために必要な知識(概念・考え方)を学習します。特に研究開発の成果である技術シーズに基づいて、起業や新規事業立ち上げを行うに当たり、必要となるマネジメントの基礎知識(知的財産戦略、技術戦略、出島戦略など)やオープンイノベーション手法の学習に重点を置きます。また、大学の研究開発成果である技術シーズの事業化・商業可能性について、市場・顧客視点から、具体的な技術シーズに基づき評価を行う「テクノロジーアセスメント」手法について、チーム演習を通じて学習していきます。なお、本講義では講義と演習(グループワーク)を組み合わせて実施します。
		◆セルフマネジメント実践	西村 宣彦	6/13・6/27・7/11 7/25・8/8・8/22 9/5・9/19(火)	第2クォーター ~夏期	18:30-20:00 (全8コマ)	文 教	本授業では、顧客目線でのペルソナ設定やリーダーシップをとって事業運営を行う上で重要な「セルフマネジメント」について学習します。ステイブーン・R・コヴィーの「7つの習慣」を軸に、様々な人と関わっていくうえで重要な人格形成や公な社会での成功に必要な習慣の習得を目指します。変化が激しく不確実性が高い現代では、価値観が自分自身の経験の影響を大きく受けることを知っておくことが重要になります。なお、本講義では講義と演習(グループワーク)を組み合わせて実施します。
		◆組織マネジメント実践	西村 宣彦	12/2(土) 12/3(日)	第3クォーター 集中講義	2~5時限 (10:30~17:40) (全8コマ)	文 教	本授業では、アイデアの実現や技術の事業化において重要な組織マネジメント入門について学習します。起業や新規事業立ち上げにおいて、人材を集めチーム・組織を構築・運営するしていく方法についても学びます。課題の解決やアイデアの実現の可能性を広げるためには組織の構築やマネジメントは重要になります。リスク管理の観点から、労務や組織構築において必要な基礎知識についても学習します。なお、本講義では講義と演習(グループワーク)を組み合わせて実施します。
		希望により大学院生聴講可能						

★学部生対象:学部生は履修登録により単位取得可能
●大学院生博士前期課程学生及び社会人対象科目:大学院生博士前期課程学生は履修登録により単位取得可能/社会人は履修証明プログラム申込により受講可能/大学院生博士後期課程学生及び学部生は希望により聴講可能
▲大学院生博士後期課程学生及び社会人対象科目:大学院生博士後期課程学生は履修登録により単位取得可能/社会人は履修証明プログラム申込により受講可能/大学院生博士前期課程学生及び学部生は希望により聴講可能
◆社会人対象科目:社会人は履修証明プログラム申込により受講可能/大学院生・学部生は希望により聴講可能

7. NFEC教育・人材育成プログラム教員

専任教員



経済学部教授
西村 宣彦

担当科目
アントレ実践入門①-③
グローバルアントレプレナーシップ論
セルフマネジメント実践
組織マネジメント実践

私は手塚治虫の鉄腕アトムが大好きで、お茶の水博士になりたくて原子力工学科(アトムの心臓は原子炉です)に進み、重工業に就職しました。研究開発センターで高温機器の開発やアフターサービス商品開発を行ってきて、その過程で工学博士をいただきました。様々な商品を開発し、今でもお客様に使っていただいているものもありますが、開発の多くが失敗しています。失敗はつらいものですが、これらの失敗から学んだことが自らを成長させていることを実感しています。また、開発はお客様を含む様々な人との熱い思いの共有と信頼関係に基づく協働が必要です。このチームワークが開発成功の大切な要素であることを痛感しています。

また、開発の一環として、発電所の資産管理に金融技術を取り入れたソフトウェアを開発するプロジェクトを行い、経済学や経営学への関心が高まりました。一方で、開発センターのマネジメントに係る中で、売れる商品と技術的に新規性のある技術とはあまり関係がないことを深く感じていました。そこで、研究開発マネジメントに関する社会人履修生として経済学部で研究を行い、業務の傍ら経営学博士をいただき、就職後25年後に長崎大学経済学部に転職しました。

アントレプレナーシップセンターでは、以上のような私のこれまでのアントレプレナーとしての経験を生かしつつ、様々な方々と協働しながら、製品開発の喜びや行動からの学びなどのアントレプレナーシップを学生や社会人、教員の皆様に伝え、体感してもらうことのお手伝いをしたいと思っています。また、長崎大学内の技術と市場のニーズやウォンツをマッチングさせ、新しい事業を創造するお手伝いをしたいと思っています。とりあえずやってみることが私の信条です。失敗も多いと思いますが、ご支援、ご鞭撻よろしくお願ひします。皆さんで、長崎を、そして日本を、世界を、アントレプレナーシップで盛り上げましょう。



准教授
株式会社YOU1 代表取締役
原口 唯

担当科目
アントレ実践入門①-③
アイデア創出デザイン思考演習
先端技術事業化論

私自身がアントレプレナーシップという概念に出会ったのは、大学3年生の頃でした。当時、建築学を専攻していたにもかかわらず、自分は建築・空間デザイナーとして生きていくのにほとんど向いていないと途方に暮れていたときに、目に入ってきたのが、食堂の掲示板に貼られていた「起業家セミナー授業運営メンバー募集」と書かれたポスターでした。デザインを専門とする大学に貼られるにはダサすぎるポスターのレイアウトに、「この人たちはよっぽどこの企画に自信があるんだろうなあ」と勘違いした私とそのメンバーになり、起業家を招いて講義をしていただく授業の運営に携わったことをきっかけに、私の人生は一変し、アントレプレナーシップと深く関わっていくようになります。きっと当時の私は、自分が起業をして社長になることも、ましてアントレプレナーシップセンターの教員になることも、全く想像もしていなかったことでしょう。

そんな私が、当時から今も思い続けていることは、アントレプレナーシップとは勇気のことだということです。何が起るかわからない状況のなかで意思決定をしていくときに頼れるものは、知識ではなく自分と世界を信じる心の強さです。だからたとえ起業をしなくても、ビジネスに携わらなくても、アントレプレナーシップは、誰の心にも必要なものだと考えています。NFECでは、多くの起業家や事業家のお言葉や、事業創造にまつわる様々なフレームワークのなかから、この世でいかに意思決定し、合意形成をしていくかについての心構えと手法を学んでいきます。この術は、私たちが生き続けるうえでいついかなる時も必要な技術です。ぜひ一緒に学び、よりよい社会をつくっていきましょう。

非常勤講師



株式会社
FFGベンチャービジネスパートナーズ
副社長

山口 泰久

担当科目
ビジネスプランニング演習
(アントレプレナーシップ応用)

「ビジネスプランニング演習」では、起業や新規事業立上げの実践に必要なアントレプレナーシップ及びビジネスモデル開発・ビジネスプランニングの手法を実践的にチーム学習します。重要なことは、皆さんに創業体験をしてもらうことです。皆さんが重要で社会ニーズがあると思う課題について、「実際にそのアイデアで事業化できるか?」「ビジネスモデル開発をどうするのか?」「資金調達のためのビジネスプランをどう作成するのか?」といったテーマで、ビジネスに直結する考え方や手法を会得することができます。本授業で得た知識や経験は、創業時のみならず、企業での新規事業創出においても大変に役立ちます。皆さん、授業では是非お会いしましょう。



株式会社十八親和銀行
主任調査役

山下 淳司

担当科目
アントレプレナー・ファイナンス論
(経営管理特論)

「アントレプレナー・ファイナンス論」では、起業やプロジェクト組成における様々な意思決定の際に必要な「資金」をいかに獲得するかについて学ぶことができます。ファイナンスとは「企業の価値を最大化するために行う活動」であると言えますが、これはすべての業務に結びつく概念です。ファイナンスはビジネスを長期的に考える視点を提供してくれることから、答えの見えない不確実な時代を生きる皆さんにとって必要不可欠なものだと考えます。長崎大学の学生の皆さん、是非FFGアントレプレナーシップセンターにおいて、先進的でインベータティブな刺激溢れるアントレプレナーシップ教育や研究に触れてみませんか?



弁理士

上條 由紀子

担当科目
アントレプレナーファイナンス論
(経営管理特論)

「受講のための手引き」のページを開いた学生の皆さん、未来を見通すことが難しい今だからこそ、多くの資源と歴史・文化の宝庫である長崎の地で、様々な分野の知が集積する長崎大学から「社会への新しい価値創造」に挑戦してみませんか? 「アントレプレナー・ファイナンス論」では、ファイナンスに関する基礎知識の獲得のほか、「アントレプレナーシップ」のマインドセット、社会への新しい価値創造の手段の1つであるビジネスの立ち上げ方、そのために必要となる知識やスキルを提供することにより、皆さんの学びを支援していきます。新年度の授業で、皆さまにお会いできる日を楽しみにしています。



国立大学法人宮崎大学
地域資源創成学部講師

土屋 有

担当科目
技術マーケティング・
顧客開発論

大事なものは「腹落ち(ハラオチ)」です。相手、自分、ステークホルダーに理解・納得・共感され支援される手段として、本授業を通じて理論と実践知をバランス良く獲得してください。「起業したい方のための講義か?」答えはYESであり、NOです。究極の商品・サービスはあなた自身です。皆さんは既に「ご自身の人生の経営者」として起業しているといえます。「マーケティング」は売り込みではなく選ばれるための理論です。自分の可能性を自らコントロールする手法を手に入れてください。研究シーズはもちろん、好きなこと、得意なこと、夢中になる力を「資源」とし、「ご自身で創る・手に入れる未来」にワクワクしたい方は受講ください。



国立研究開発法人情報通信研究機構
脳情報通信融合研究センター企画室
マネージャー

松橋 俊彦

担当科目
イノベーション論(イノベーション・
技術戦略・知財戦略・出島戦略)

「イノベーション論」では、大学保有技術を基に、技術商業化の評価を行うツールである「テクノロジーアセスメント」を実践します。調査会社データを用いたセカンダリーリサーチではなく、想定顧客に直接インタビューするプライマリーリサーチは、技術商業化にとって重要な手法です。本授業では、チーム形式で「テクノロジーアセスメント」に取り組んでもらい、研究成果の商業化プロセスの全体像や手法を学習します。さらに、アクティブラーニングによる実践スキルやチームマネジメントも学びます。本授業は、米国ボストン大学の実践プログラムがベースであり、私自身が開講初年度に現地受講しました。エキサイティングな授業の様子を皆さんにお伝えしていきます。

8. NFEC教育プログラムを受講するには？

全学部生・
院生向け

◆学部生の場合(全学部1~4年生対象)

履修登録して単位取得が可能な科目は、入門プログラム科目「★課題発見・システム思考入門(第1Q)」 「★アイデア創出・デザイン思考入門(第2Q)」及び「★事業創造・スタートアップ入門(第3Q)」の3科目です。この3科目は教養教育・自由選択科目に該当します。履修を希望する学部生は所定の履修登録期間内にNU-Webシステムから登録してください。また、学部生が大学院生対象科目(基礎・応用プログラム科目)、社会人対象科目(実践プログラム科目)の聴講を希望する場合は、NFECのWEBサイトまたはメールにて直接NFECにお問い合わせの上、聴講申込をさせていただきます。

◆工学研究科博士前期課程総合工学専攻の大学院生の場合

履修登録して単位取得が可能な科目は、基礎プログラム科目「●アイデア創出・デザイン思考演習(第1Q)」 「●ビジネスプランニング演習(アントレプレナーシップ応用)(第2Q)」 「●経営管理特論(アントレプレナー・ファイナンス論)(夏期集中)」 「●技術マーケティング・顧客開発論(夏期集中)」の4科目です。これら4科目は工学研究科の「技術者・研究者実践科目」に該当します。履修を希望する大学院生は、所定の履修登録期間内にNU-Webシステムから登録を必ず行ってください。

◆経済学研究科博士前期課程経営学修士(MBA)コースの大学院生の場合

履修登録して単位取得が可能な科目は、基礎プログラム科目「●アイデア創出・デザイン思考演習(第1Q)」 「●ビジネスプランニング演習(アントレプレナーシップ応用)(第2Q)」 「●技術マーケティング・顧客開発論(夏期集中)」の3科目です。これら3科目について履修を希望する大学院生は、所定の履修登録期間内にNU-Webシステムから登録を必ず行ってください。

◆工学研究科博士後期課程の大学院生または博士課程(5年一貫制)3~5年の大学院生の場合

履修登録して単位取得が可能な科目は、応用プログラム科目「▲先端技術事業化論1(第2Q)」 「▲グローバルアントレプレナーシップ論(夏期集中)」 「▲イノベーション論(イノベーション・技術戦略・知財戦略・出島戦略)(第3Q)」の3科目です。これら3科目は工学研究科博士後期課程の「総合科目における選択科目」に該当し、博士課程(5年一貫制)の「研究者養成実践科目における選択科目」に該当します。履修を希望する大学院生は、所定の履修登録期間内にNU-Webシステムから登録を必ず行ってください。

◆上記以外の研究科大学院生の場合

上記以外の研究科に所属する大学院生も、NFEC教育プログラムの大学院生対象科目を受講することが可能です。博士前期課程の大学院生は、基礎プログラム科目「●アイデア創出・デザイン思考演習(第1Q)」 「●ビジネスプランニング演習(アントレプレナーシップ応用)(第2Q)」 「●経営管理特論(アントレプレナー・ファイナンス論)(夏期集中)」 「●技術マーケティング・顧客開発論(夏期集中)」の4科目、博士後期課程の大学院生は、応用プログラム科目「▲先端技術事業化論1(第2Q)」 「▲グローバルアントレプレナーシップ論(夏期集中)」 「▲イノベーション論(イノベーション・技術戦略・知財戦略・出島戦略)(第3Q)」の3科目です。これらの科目について履修を希望する大学院生は、指導教員の了解及び授業担当教員(NFEC教員)の内諾を得た上で、「他研究科授業科目履修願」を各期の定められた期日までに、所属する研究科の事務部学務担当に提出してください。所属する研究科と工学研究科との協議後、所属する研究科の教務委員会で認められると履修登録が可能になります。不明な点がある場合はNFECのWEBサイトまたはメールにて直接NFECにお問い合わせください。

◆学部生・大学院生が社会人対象科目の受講を希望する場合

学部生・大学院生が社会人対象の実践プログラム科目「◆セルフマネジメント実践(第2Q~夏期集中)」 「◆組織マネジメント実践(第3Q)」の受講を希望する場合は、NFECのWEBサイトまたはメールにて直接NFECにお問い合わせの上、聴講申込をさせていただきます。

NFEC教育プログラム科目の受講方法、履修登録方法について不明な点がある場合や教員面談希望の場合は、NFECのWEBサイト、メールまたは電話にて直接NFECにお問い合わせください。

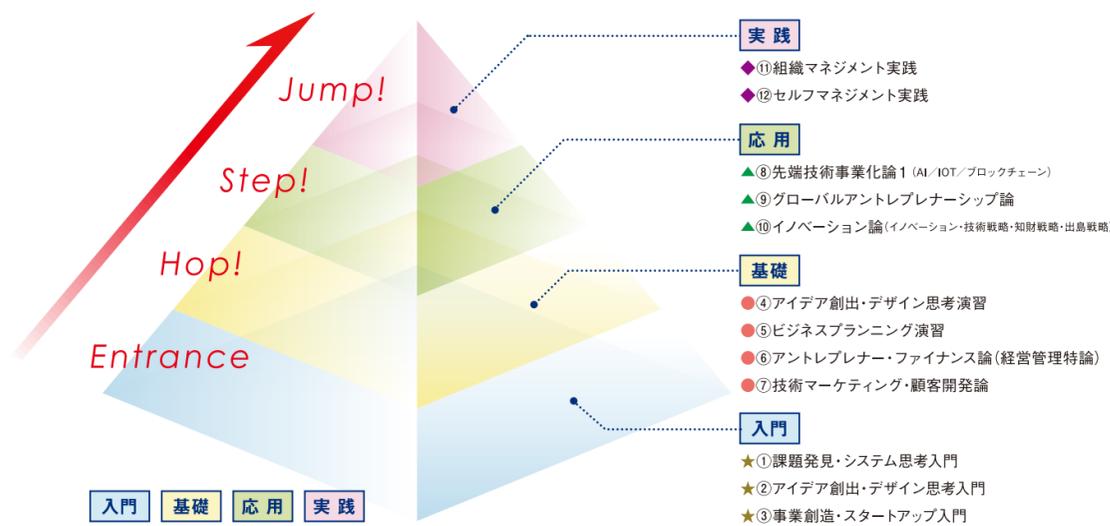
◆NFECのWEBサイト
<http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp>



◆NFECのメールアドレス
ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp



9. 目的別のおすすめ科目・おすすめ履修モデルは？



<p>アントレプレナーシップとは何かを学んで、自分のキャリアに活かしてみたい 失敗を恐れず自分の夢や目標に向かってチャレンジできるマインドを身につけたい</p> <p>↓</p> <p>★①課題発見・システム思考入門</p>	<p>問いの立て方、新しいアイデアの創り方、アイデアを具体化させるスキルを身に付けたい</p> <p>↓</p> <p>★②アイデア創出・デザイン思考入門 ●④アイデア創出・デザイン思考演習</p>	<p>新しい事業(ビジネス)の起し方を知りたい、スタートアップや起業について関心がある、ビジネスプランの作り方を知りたい</p> <p>↓</p> <p>★③事業創造・スタートアップ入門 ●⑤ビジネスプランニング演習</p>
<p>グローバルに活躍するアントレプレナーの事例を学び、自分のキャリアに活かしたい、海外のスタートアップやベンチャーの最新動向を知りたい</p> <p>↓</p> <p>▲⑨グローバルアントレプレナーシップ論</p>	<p>起業や新規事業立ち上げに必要なファイナンス理論を学びたい、資金調達の方法を知りたい、ベンチャーに必要な法務・知的財産の基礎を学びたい</p> <p>↓</p> <p>★③事業創造・スタートアップ入門 ●⑦技術マーケティング・顧客開発論</p>	<p>研究開発成果である技術シーズの事業化をする実践的な方法を知りたい 技術シーズの事業化のためのビジネスプランを作りたい</p> <p>↓</p> <p>●⑤ビジネスプランニング演習 ▲⑩イノベーション論(イノベーション・技術戦略・知財戦略・出島戦略)</p>
<p>スタートアップやベンチャーにとって大切なチーム作りや組織体制について学びたい 技術を戦略的に活かして価値を生み出す手法を知りたい 産学連携について学びたい</p> <p>↓</p> <p>◆⑪組織マネジメント実践</p>	<p>マーケティングについて学びたい 顧客開発モデルについて理解したい</p> <p>↓</p> <p>★③事業創造・スタートアップ入門 ●⑥アントレプレナー・ファイナンス論(経営管理特論)</p>	<p>事業運営におけるマネジメント方法を知りたい</p> <p>↓</p> <p>▲⑧先端技術事業化論 ◆⑫セルフマネジメント実践</p>

10. 受講生の声



STUDENT VOICE 01
長崎大学 経済学部 1年(受講当時)
松本 日菜

私がこの講義を履修した時は、アントレプレナーシップとは何かも知らなかったし、将来起業をしようと考えていたわけでもありませんでした。ただ、将来的には社会人として働くため、大企業やベンチャーなど実社会の様々な現場で活躍されている方々のお話を聞くことは貴重な経験だと思い、この講義を履修しました。毎回の講義でゲスト講師の方々が語られる今までの困難や何か成し遂げられたお話は、私のチャレンジ精神を掻き立ててくれました。「失敗を恐れずチャレンジする」という聞き慣れた言葉も、講師の方々の情熱的なストーリーを聞き、改めて重要な事として自分に落とし込むことができました。私は今、この講義をきっかけにアントレプレナーシップ実践プログラムに参加し、スイーツの商品開発によって地域を盛り上げるプロジェクトに挑戦しています。この挑戦に踏み出す勇気をくれたのがこの講義でした。



STUDENT VOICE 02
長崎大学 経済学部1年(受講当時)
長澤 祐太

私は、この授業を受けるまでは事業創造・スタートアップに携わる方のお話を聞いたことがなく、勝手なイメージで難しそうだと決めつけていました。しかし、この授業で多くの方のお話を聞く中で、自分の考え方に変化が出てきました。自分に多くのタグをつけ、価値を高めていくことや自分のやりたいことをとりあえずやってみる、といったものは非常に印象的です。たとえ起業をしなくてもこのようなことは絶対に役に立ちます。大学生のうちに、様々な経験を持つ方からお話いただき、多くのことを学べたので、今度はそれをもとに行動していきたいと思っています。事業創造・スタートアップについて学んだことで、行動力の大切さも身に染みて感じたので悔いのないよう積極的に行動していきたいです。



STUDENT VOICE 05
長崎大学 環境科学部1年(受講当時)
益富 晴菜

コロナが原因で急に授業が対面からリモートに変わったり、国民がマスクを着けるようになったりと、何かをきっかけに社会は早急に大きく変わってしまうことを学んだ。そして、コロナのように社会を大きく変えるような出来事はこれからも起こるかもしれない。学生でいる間の豊富な自由時間と、急速に変わってしまう社会の2つについて考えたときに、自分なりの揺るぎない信念と、変わるべき部分は変わっていくという臨機応変さを持つために事業創造を考えることが重要であると考えた。本講義で行った事業創造を考えるワークを通して、事業創造を考えることは起業だけでなく、自分の価値観や強みを見つけるきっかけにもなることを知った。そこから、どんなに状況が変わっても自分軸を持ちながら、状況の変化に合わせて変えた方が良い部分を変えられるようになれば私の人生の目標としている「幸せな生活をする」ことができるようになった。今、学生でいる間の豊富な自由時間を使って自分の中の変わらないものと変えるものが何なのかをしっかりと見極めたいと思った。



STUDENT VOICE 06
長崎大学大学院 工学研究科
博士前期課程 総合工学専攻1年(受講当時)
徳久 泰河

私は、「アントレプレナーシップ応用(ビジネスプランニング)」「イノベーション論」などの授業を受講し、「アントレプレナーシップ実践プログラム」でドローンを用いた狩猟についての事業を計画し、進めることができました。授業では、学生の割合が少なく社会人の方々の中で、「事業」を立ち上げていくための方法を実践しながら学ぶことができました。もちろん大変なことも多く、おそらく迷惑もかけたと思いますが、ただ受け身で授業を受けるだけでは体験できないことがあり、このような機会をいただけたことに感謝しています。工学部として、「ザ・研究者」という生き方は王道で必要なことだと思いますが、他方で、これからの時代は「技術の力を活用して自分がやりたいと思ったことを自分でやっていく」という人材も必要になって来るのではないかと考えています。



STUDENT VOICE 03
長崎大学 水産学部 3年(受講当時)
松浦 栄人

NFEC科目は、「毎回講師が違う!？」少し変わった講義を受けてみたい方におすすめです。私は、「アントレプレナーシップ入門」、「アイデア創出・デザイン思考入門」、「事業創造・スタートアップ入門」の3科目を受講しました。多種多様な分野や背景で起業してきたゲスト講師の方々からは、起業家の精神とともに社会課題解決に向けた熱い想いを受け取ることができ、皆さんの今後の人生に大きな出会いをもたらしてくれると思います。これから社会人になっていく学生にとって、アントレプレナーシップの知識や考え方、スキルを学べる機会はとても貴重なことであると思います。また、講義を通じて出会った仲間たちと「ラウンジNOVE」を利用して学びを深めていくこともでき、講義の枠にとらわれずに学ぶことができることも魅力の1つです。少しでも気になった方はぜひ受講を検討してみてください。



STUDENT VOICE 04
長崎大学 経済学部1年(受講当時)
高木 和奏

私にとって「事業創造・スタートアップ」を考えることは、自己理解をするために重要だと感じました。私は大学に入学してから自分は何が好きなのか興味があるのかが分からずに生活していました。しかし、この授業を通して、ペアで自分がしてみたい事業について話し合ったときで、自分は何が好きでどんなことに興味があるのか、どのようなことに問題意識を持っているのかについて考えました。また、起業やそれをサポートすることで活躍されている方々の話を聞いて、「今まではこう考えていたけど、自分にはこの人みたいなこういう考え方もあっているかも」ということもありました。私は、卒業後に起業家になりたいと思っているわけではないけど、自分がしたいことを見つけるために、この授業は役に立ったと思いました。



STUDENT VOICE 07
長崎大学 経済学部1年(受講当時)
徳永 恒大

私が、「事業創造・スタートアップ」を考えることが、重要な理由は現在事業の立ち上げに取り組んでいるからであるいろんな方に協力していただきながら、非常に興味のある分野で事業を起こしたいと考えている。しかし、半年前まで高校生だった私には起業などの分野における知識・ノウハウが足りない。また、大学内の授業では概論などが主な学習の対象となっており、実践的な内容などを深く学ぶことができない。そのため、本格的に事業を行うために事業創造についての学習を行う必要があった。また、今の時代恐ろしく早く社会は変化している。この社会を生きていくうえで既存の形にはまりながら仕事や行動を起こすことはあまり適正とは言えない。変化が速いからこそ自らで変化に適應できるような考え方・実践力が必要である。その力を手に入れるにはスタートアップなどの力が間接的にはあるが必要である。



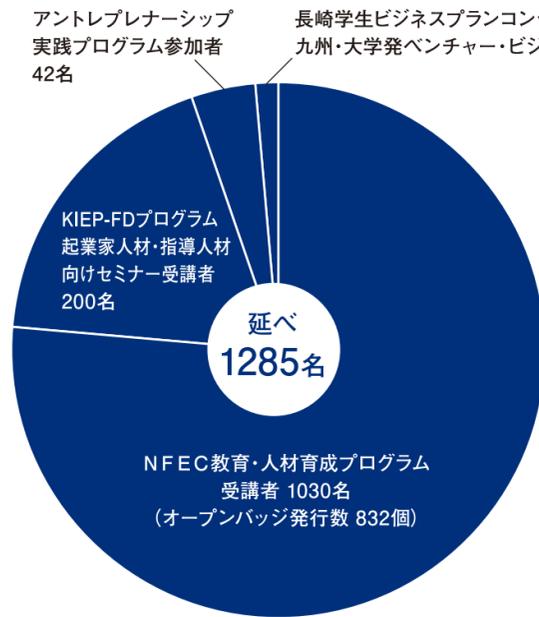
STUDENT VOICE 08
長崎大学 経済学部1年(受講当時)
今里 安音

近年、若者の起業を進める取り組みが大学を中心に様々な場所で行われていると思います。AIなどの新しい技術の領域で、日本は他の国と比べて遅れをとっているのが現状です。アクションまでに時間のかかる大企業よりも、身軽に動くことのできるスタートアップが増えることによって日本の未来を救うことができるのではないかと考えます。また、私自身、大学卒業後に起業をしたいと考えていましたが、なかなかアクションをとれずにいました。この講義を通して、改めて事業創造について、アントレプレナーシップについて考えるなかで、起業をしたいという自身の思いがより一層強くなりましたし、それと同時に起業をすることの重要性も学びました。

11.NFECの活動成果

データで見るNFEC

アントレプレナーシップ教育・人材育成



NFECは2019年10月開設以来、学部生・大学院生を対象とした「NFECアントレプレナーシップ教育プログラム」、社会人を対象とした「NFECアントレプレナーシップ人材育成プログラム(社会人履修証明プログラム)」、起業家支援人材・指導人材を対象とした「KIEPS-FDプログラム」等、様々なアントレプレナーシップ教育・人材育成を実施してきました。そして、述べ1000名以上の学生・社会人履修生が授業を受講し、延べ200名の起業家支援人材・指導人材がセミナーを受講しました。

※アントレプレナーシップに関する講義を含むキャリア教育科目「キャリア入門」の受講者数は、2021年度1657名、2020年度は1563名であったことから、2020年度及び2021年度において「アントレプレナーシップ」に関して学習・実践した学生数は、延べ4505名である。

NFEC教育・人材育成プログラム受講者数

「NFEC教育・人材育成プログラム」は2020年度410名、2021年度は620名、合計1030名の学部生、大学院生および社会人履修生が受講

年度	学部生・大学院生(名)	社会人履修生(名)	合計(名)
2020年度	194	216	410
2021年度	324	296	620
2022年度	351	118	469
合計	869	630	1499

オープンバッジ発行数

2020年度より「NFEC教育・人材育成プログラム」の受講修了者に対して、国立大学初のオープンバッジをNFECより発行。

※「オープンバッジ」とは、資格・スキル・能力等を示すデジタル証明/認証であり、世界的な技術標準規格に準拠した、偽造・改ざんが困難な信頼性のある学習証明書。



年度	学部生・大学院生対象(個)	社会人履修生対象(個)	合計(個)
2020年度	220	171	391
2021年度	209	232	441
2022年度	203	119	322
合計	632	522	1154

ビジネスプランコンテスト受賞者数

- ◆FFG主催「長崎学生ビジネスプランコンテスト」において受賞者16名を輩出(2020-2022年度合計)。
- ◆長崎大学の学部生が、2020年度から3年連続グランプリを受賞。



長崎学生ビジネスプランコンテスト2022グランプリ・協賛企業賞の経済学部2年菊池将成さん

長崎学生ビジネスプランコンテスト(敬称略)

	受賞	テーマ	メンバー
2020年度	グランプリ・協賛企業賞	VRゲーム×伝統芸能による音楽体験の創出	久保 駿斗
	協賛企業賞	「MATO(一つの、一つの心)」三日坊主防止アプリ	JUNG JIWON
	協賛企業賞	「SERINA~新しい流通の形~」魚を市場から消費者が購入できるアプリ	鶴田 諒
	協賛企業賞	「高齢者向けのマッチングアプリ」	橋本 航太・春田 希・兵動 拳士
	特別賞	「U-gakusha」優秀な学生と企業とのマッチング	田崎 智恵・馬場 大暉
2021年度	グランプリ・協賛企業賞	「Kigae」波佐見焼のサブスク事業	山羽 香穂
	協賛企業賞・特別賞	「農業苑」高齢者の介護サービスと遊休不動産の活用を組み合わせ	小山田 拓・爲則 啓人
2022年度	グランプリ・協賛企業賞 (Kabuk Style賞・杉永洋詩賞・長崎自動車賞・メモリード賞)	「ガチャばす」	菊池将成
	優秀賞 (十八親和銀行賞)	「歯科医師版 UberEats」	松崎 雄也・濃野 光・松島 良典
	協賛企業賞 (GEUDA賞)	「ロスフラワー活用事業」	徳永恒大ほか

九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト(九州大会)(敬称略)

	受賞	テーマ	メンバー
2020年度	優秀賞	「ミツカル」学生向け就職活動支援サイト	宮川 智慧
2021年度	九州経済連合会会長賞	「ヤクカリ」地域薬局同士の医薬品在庫二次流通システム	李 明恩

アントレプレナーシップ実践プログラム参加者数

- ◆2021年度より、長崎大学が標榜する実践力の涵養を目指して、「アントレプレナーシップ」をプロジェクト実践による様々な体験を通じて学ぶことにより、「困難に対峙する力」や「新価値創造に必要な能力」を養うことを目的として、キャリアセンターとNFECが本実践プログラムを実施。
- ◆2022年度は、本実践プログラムに4チームが採択された。

【2022年度表彰チーム】(敬称略)

- ◆最優秀賞/学長賞 「MDM Clouds」松崎雄也(医学部5年)・濃野光(医学部5年)・松島良典(歯学部5年)
- ◆優秀賞 「たびふたい」菊池将成(経済学部2年)



最優秀賞/学長賞の濃野光さん(左)と河野茂学長(右)

12. 長崎オープンイノベーション拠点 ラウンジNOVE

◆長崎オープンイノベーション拠点とは？

長崎オープンイノベーション拠点は、2020年7月、長崎大学、長崎県産業労働部及び公益社団法人長崎県産業振興財団により、長崎県の産業振興及び地域課題の解決を図ることを目的として締結された産学官連携に関する協定に基づいて設置された拠点です。長崎オープンイノベーション拠点を核として、長崎県の地方創生の実現と将来にわたる長崎県の持続的な発展を目指した活動が行われます。

◆ラウンジNOVEとは？

ラウンジNOVEは、長崎オープンイノベーション拠点の一部として長崎大学内に開設されたスペースです。NOVEとは「Nagasaki Open Innovation & Venture Empowerment」の略称であるとともに、ラテン語で「新たに」という意味を持ちます。ラウンジNOVEの場所は文教キャンパス工学部2号館1階オープンラボ1になります。

◆ラウンジNOVEのビジョン

- ①ラウンジNOVEは、長崎大学の学生が自分自身の課題意識に基づいて問いを見出し、その問いの解決に向けて自発的に企画・発案したプロジェクト（学生プロジェクト）に取り組むことによって、多様な価値観を共有できる仲間と出会い、創造性を発揮して社会に新しい価値を生み出す実践の場を目指します。
- ②ラウンジNOVEは、学生同士のみならず、社会人（NOVEに訪問登録をした卒業生、教職員、行政、金融機関、起業家、社会人等）との交流を積極的に行うことにより、長崎におけるオープンイノベーションの発信地を目指します。



◆ラウンジNOVEの利用方法

学生プロジェクトに取り組む学生は、利用登録をすることにより、会議、セミナー、学生同士の交流・議論の場、学生プロジェクトに関わる社会人や教職員との交流・議論の場として、ラウンジNOVEを利用できます。ラウンジNOVEの利用を希望する方は、NFECまでメールまたは電話でお問い合わせください。

利用者の声



長崎大学 水産学部3年生
瓜生 信汰朗

最初の一步が踏み出すことが難しい？

それなら、踏み出すお手伝いをさせてください。

NOVEが誕生してから、長崎でのアントレプレナーシップ教育の重要性を身近な環境で勉強することができています。NOVEを日常的に活用することで、VUCAと呼ばれる変化の激しい時代でも自分の軸を見失わずに活動ができました。

私が活動の拠点にしているNOVEは、フリーWi-Fiや電源は当然のこと、大型モニターや多様な出力機器まで整備されており、大学生がアントレプレナーシップを学び、実践するために必要な環境が揃っています。

それに付随して、昨年度からはNOVEを活用して自身のプロジェクトを推進するために必要な考え方、アドバイスを行うNOVE大学というプログラムを立ち上げました。これまでに私自身で活動してきた中で身につけた経験や感性を1人1人に合わせて適切に提供するプログラムです。昨年度の受講生の中には、ビジネスプランコンテストで優勝し、自身で事業を立ち上げて成長し続けている学生も、第一志望の就職先にトップ成績で内定した学生も、卒業論文で学部の最優秀賞を受賞した学生もいます。

長崎は、かつて日本最先端の技術や知識が集積していました。長崎は、未知な世界に積極的に挑戦して、新しい未来を築くスタート地点だったのです。そんな歴史のバックグラウンドがある長崎で、新たな未来を切り拓いていく皆さんを応援させていただきます。NOVEでお待ちしています。

ラウンジNOVE 設備・サービスメニュー

起業・キャリア相談



イベントスペース利用

公序良俗、法令に違反しない範囲でのご利用を



作業スペース利用

ビジネスプランコンテストやアントレ実践プログラムに



プリンター



印刷、コピー、スキャン、ポスターや名刺サイズも可能

3Dプリンター



三次元モデルデータが必要になります

UVプリンター



金属、プラスチックに印刷が可能です

大型ディスプレイ・プロジェクター



会議、イベントでご利用ください

デスクトップPC



Windows・Macあります

ドローン



航空法や小型無人機等飛行禁止法をご確認ください

360度カメラ



360度コンテンツを撮影可能です

VR用ヘッドマウントディスプレイ



VRコンテンツをテストすることが出来ます